

第32回 源氏物語アカデミー プログラム

開催日	時間	内容	会場
10/18 (金)	18:00 18:20	開講式	ホテル クラウンヒルズ 武生
	18:20 19:20	対談「源氏物語の色」 染織史家・染色家 吉岡幸雄氏 同志社女子大学名誉教授 龍谷壽氏	
	19:30 21:00	講義「源氏物語の天気」 駒沢女子大学教授 池田節子氏	
10/19 (土)	9:00 11:30	現地研修「越前和紙の里散策」 岩野平三郎製紙所 国指定名勝三田村氏庭園 紙の文化博物館 卯立の工芸館 ほか	越前市内
	11:45 12:30	昼食	魚栄楼
	13:00 14:30	講演「源氏物語と古筆と料紙と」 料紙作家・古筆研究家 福田行雄氏	いまだて芸術館
	14:45 16:15	講演「紫式部時代の仮名料紙」 元五島美術館副館長 名児耶明氏	
	16:45 17:30	観覧「王朝の美を求めて -木版本国宝源氏物語絵巻と装飾料紙-」	武生公会堂記念館
18:30 20:00	宴席「紫きぶ御膳」	料亭 鎌仁別荘	
10/20 (日)	9:00 10:30	原文講読「梅枝巻を読む」 京都先端科学大学教授 山本淳子氏	ホテル クラウンヒルズ 武生
	10:40 12:10	講義「源氏物語に見える雲」 東京大学大学院教授 高木和子氏	
	12:10 12:30	閉講式・講評 監修者 龍谷壽氏	

※ プログラムの内容は変わることがあります。

- ◇参加会費 ●受講料 / 4,000円 (各講義/講演/原文講読) ●現地研修 / 4,000円 (バス代・入館料・昼食)
●講義テキスト / 2,000円 ●紫きぶ御膳 / 6,000円
●19日講演 (13:00~16:15) / 越前市民公開講座

- ◇申込期限 9月30日(月) [お申込み・お問合せ] 源氏物語アカデミー委員会
期限厳守でお願いします。 〒915-0832 福井県越前市高瀬2丁目3-3 越前市文化センター内
TEL 0778-23-5057 FAX 0778-21-1975
Email: info@genji-ac.jp



日野山

写真/河合俊成

第32回源氏物語アカデミー

監修 同志社女子大学名誉教授 龍谷 壽

テーマ 源氏物語と雲



渡辺玉花 源氏物語五十四帖「総角」

会期：令和元年 10月18日(金)～20日(日)

会場：ホテル クラウンヒルズ武生ほか

主催：源氏物語アカデミー委員会 紫式部顕彰会
共催：(公財)越前市文化振興・施設管理事業団
後援：福井県 福井県教育委員会 越前市 越前市教育委員会
武生商工会議所 (一社)越前市観光協会 古典の日推進委員会

第32回 源氏物語アカデミー

対談 「源氏物語の色」

10/18(金) 18:20~19:20



吉岡幸雄氏

染色家 早稲田大学文学部文芸学科卒
「染司よしおか」5代目当主。平成20年、成田空港到着ロビーの
アートディレクターを務める(グッドデザイン賞受賞)。源氏物語
千年紀にあたり、源氏物語の色五十四帖を再現。
主な著書に『日本の色辞典』『源氏物語の色辞典』(紫紅社)、『王朝
のかさね色辞典』(紫紅社)『千年の色 古き日本の美しさ』(PHP
研究所)、『日本人の愛した色』(新潮社)『日本の色を染める』(岩
波新書)。2019年度京都創造者賞受賞。



隴谷 壽氏

同志社女子大学名誉教授 日本古代史、平安時代の政治・文化
同志社大学文学部文化史学科卒
主な著書に『源頼光』(吉川弘文館)『清和源氏』(教育社)『王朝
と貴族』(集英社)『藤原氏千年』(講談社現代新書)『源氏物語の
風景』『平安貴族と邸第』(吉川弘文館)『藤原道長』『藤原彰子』
(ミネルヴァ書房)『平安王朝の葬送』(思文閣出版) 紫式部顕彰
会理事(京都)。古代学協会理事長。第5回から源氏物語アカデ
ミー監修者に就任。平成17年度京都市文化功労賞受賞。

講義 「源氏物語の天気」

10/18(金) 19:30~21:00



池田節子氏

駒沢女子大学教授
源氏物語を中心とした平安時代の文学
東京大学文学部国文学科卒、同大学院人文科学研究科博士課程単
位取得退学、博士(文学)
主な著書に『源氏物語表現論』(風間書房)、『紫式部日記を読み
解く』(臨川書店)、編著書に『源氏物語の歌と人物』(翰林書房)。

くも テーマ 源氏物語と雲

『源氏物語』と紫式部を様々な角度から探求する源氏物語アカデミー第三十二回のテーマは、「源氏物語と雲」です。この「雲」は天象の雲ではなく、平安古筆に使われた装飾料紙の打雲や飛雲を指しています。今回の講師福田行雄先生のご尊父福田喜平衛氏は幻の料紙とされていた「羅紋飛雲」の製法を開発された方です。また越前和紙の里でも、名見耶明先生のご指導と職人たちの努力で、平安装飾料紙、打雲、飛雲、羅紋、いろ紙などの復元に漸く漕ぎつけました。それらの現物を鑑賞し、各講師の先生方に『源氏物語』の中の料紙について探っていただきます。

講演 「源氏物語と古筆と料紙と」

10/19(土) 13:00~14:30



福田行雄氏

料紙作家・古筆研究家 田中親美を祖父に、福田喜兵衛を父に
持ち、三代にわたり、大和絵と古筆の研究、復元に力を注ぐ。
これまでに、皇居内寒香亭の内装、高岩寺(鶯鴨とげぬき地蔵)、
精進料理醍醐(ミシュラン1つ星)などの内装を手掛ける。
今日、屏風、写経料紙、仮名料紙などを製作。主な著書に『かな
料紙の作り方』(二玄社)1990年 日本橋・壺中居にて個展「荘厳
料紙装丁展」開催。1995~2010年 毎年、東京青山神通静
玩堂にてグループ展「同舟展」開催。現在、皇居歌会始の製色目
懐紙を製作東宮御所、明治神宮の荘厳短冊を製作。

原文講読

「梅枝巻を読む」10/20(日) 9:00~10:30



山本淳子氏

京都先端科学大学人文学部教授
京都大学文学部卒業後、京都大学大学院人間・環境学研究科修了。
博士(人間・環境学)。
主な著書に『源氏物語の時代——一条天皇と后たちのものがたり』(朝日新聞出版)でサントリー学芸賞受賞。『平安人の心で「源
氏物語」を読む』(朝日新聞出版)で古代歴史文化賞受賞。『誰も
教えてくれなかった「源氏物語」本当の面白さ』(林真理子氏と
共著、小学館新書)、『紫式部集論』(和泉書院)『紫式部日記と王
朝貴族社会』(和泉書院)、『枕草子のたくらみ——「春はあけぼの」
に秘められた思い』(朝日新聞出版)。

講演

「紫式部時代の仮名料紙」

10/19(土) 14:45~16:15



名見耶 明氏

元五島美術館副館長 日本書道史、古筆学
東京教育大学教育学部芸術学科書専攻卒
財団法人大東急記念文庫を経て五島美術館勤務。
主な著書に、『平安の古筆』『やまとうた一千年』『牧谿—憧憬の水
墨画』『伊勢物語の世界』『定家様』『紫式部日記絵巻と王朝の美』
『書の見方』『隆能源氏の詞書と十二世紀の古筆』(古筆学叢林)ほか。

講義

「源氏物語に見える雲」

10/20(日) 10:40~12:10



高木和子氏

東京大学大学院人文社会系研究科教授 国文学、平安朝文学
東京大学文学部卒、同大学院人文社会系研究科修了、博士(文学)。
『源氏物語』を中心に、平安時代の物語や和歌を研究。
主な著書に、『源氏物語の思考』(風間書房、第五回紫式部学術賞)、
『男読み 源氏物語』(朝日新書)、『女から読む歌 源氏物語の贈
答歌』(青簡舎)、『コレクション日本歌人選 和泉式部』(笠間書
院)、『平安文学でわかる恋の法則』(ちくまプリマー新書)、『源
氏物語再考 長編化の方法と物語の深化』(岩波書店)、『物語二
百番歌合/風葉和歌集』(明治書院、三角洋一氏と共著)。

現地研修

10/19(土) 9:00~11:30

「越前和紙の里散策」

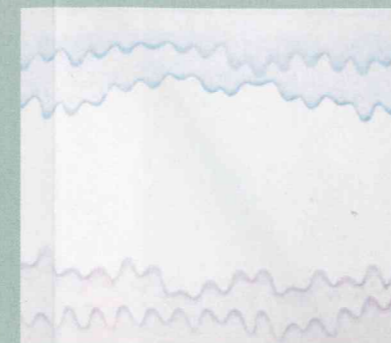
岩野平三郎製紙所・三田村氏庭園・紙の文化博物館・卯立の工芸館ほか

岩野平三郎製紙所

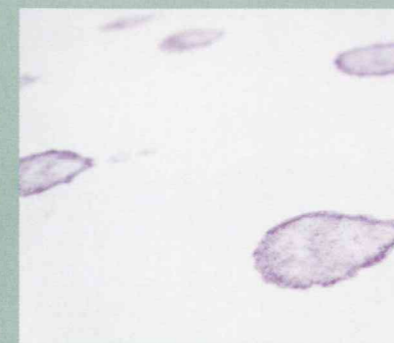


初代 横山大観 平三郎
二代目 平三郎

150年の歴史を持つ紙漉き工房。大正末期、初代岩野平三郎は
今まで絹本ではできなかった重ね塗りを可能とする日本画用の
和紙「雲肌麻紙」の発明に成功した。その紙は横山大観、下村観山、
富田溪仙、竹内栖鳳などに愛用されてきた。また、和紙古来の紙
漉き模様である「打雲・飛雲・水玉」の紙も抄造する。



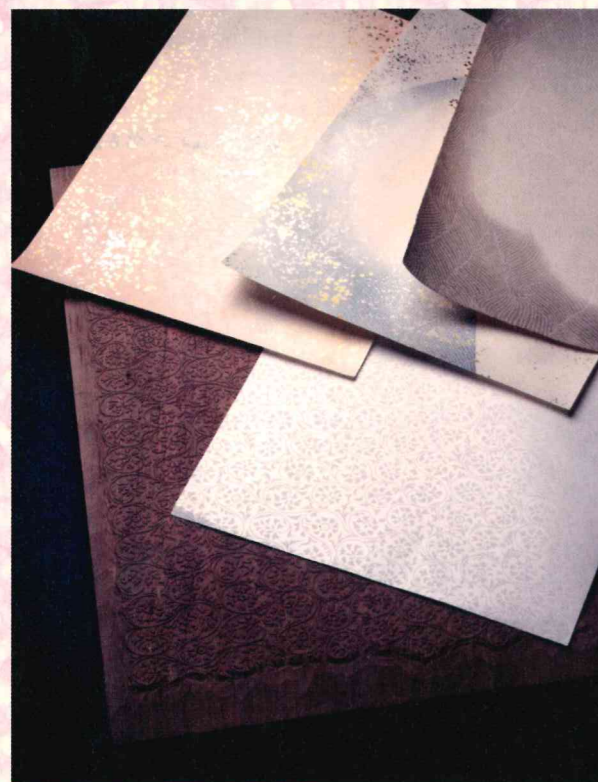
打雲 三代目平三郎作



飛雲 三代目平三郎作

国指定名勝 三田村氏庭園

700年の伝統を持つ越前製紙所三田村家は、朝倉、豊
臣、徳川の御用紙職をつとめ、今日まで連綿と紙漉きを
継承している。全国初の藩札を漉いたのもここである。
江戸時代に作庭され、越前和紙の歴史と共に歩んできた
三田村氏庭園は、裏山の借景と石組みが優れた池泉回遊式
庭園であり、日本庭園史における学術上の価値も高い。



金銀切箔料紙と版木 福田行雄氏作